

★こざとこナイトタウン情報★ 夕陽にジャンプ



若松米雄さん(地域づくり部会長)創作、演出により、天草西海岸の夕陽をめぐって突き進む6頭のパンドウイル力の群れが(昨年の12月9日完成)元気よく泳いでおります。
下田南地区コミュニティセンター横広場(国道389号線沿い)にライトの演...実地しております。1月6日(水)まで楽しむことが出来ます!

私とふるさと

謹賀新年 祭りに紡ぐ故郷慕情

二〇一五年十月十八日は秋晴れの暖かい天気でした。この日は小田床菅原神社の秋の例大祭でした。

私も還暦の年だったので、何とか参加しようと日帰りでしたが、長崎から駆け付け、行列の一員です。降神の神事のあと、御立、御くたりは少しハラハラですが、私も見よう見まねで烏毛をふらさせていただきました。浜で小田床の皆さんと一緒に会し、昼飯をいただくのは何よりのご馳走です。

今年は、昨年も来られた長尾敏明さんのほかに中村英俊さん、隆寧さん、留美子さんも来られていた。嬉しいもんです。

離郷者の方が一人でも多く来ていただければ、本人はもとよりもっと楽しく皆さんに元気を与えることは間違いない。故郷を離れていても、生まれ育った小田床が一番です。離郷者の思いは同じだと思います。小田床は少子高齢化が顕著ですが、これからもずっと元気な故郷であってほしいと願うのは私だけではないと思います。

次回のお祭りには是非おいでください。お待ちしております。

「微力だけど無力じゃない。」
新年が皆さんにとって、小田床にとって良い年でありますように。
二〇一五年十二月【白石 憲博】

ちよっといひ話

平成27年11月26日の熊日新聞、カルワイド県南に天草書道協会大賞に下田南の伊野修一さんの作品が掲載されました。(第70回天草書道展の審査が天草市東町の市民センターにて)

天草書道協会大賞の伊野修一さんの作品中国唐代 完成した七言律詩56文字の詩 作者 杜甫「九月九日の重陽の節に、ただ一入高台に登って思いにふけた詩。」

風急に天高くして猿鳴哀し、渚清く沙白くして鳥飛び廻る。無邊の落木蕭蕭として下り、不盡の長江滾滾として来る。
萬里悲秋常に客と作り、百年多病獨り羣に登る。難難苦だ恨む繁霜の鬢、潦倒新に停む濁酒の杯。

小田床情報板	
1月	3日(日) 天草町成人式 4日(月) ...鬼火焼き 7日(木) ...鬼火遺産講演会 31日 ...世界遺産ミセン 高浜コメン
2月	中旬予定...先進地研修
3月	6日(日) ...椿まつり 27日(日) ...ウオーキング大会

地域消滅を防ぎ、ふるさとを未来につなぐため

チーム天草が結成されました。

天草町は地域消滅の危機を迎えています。平成27年度の天草町の人口は、600人が20年先には880人まで減少します。65歳以上が就業年齢層をオーバーしておりすでに限界集落に陥っている現状です。下田南は170人が20年先には50人になり30年先には地域消滅状態となります。

株式会社チーム天草を設立しました。若者が安心して子育てできる仕事の場の創出を目的とし、責任ある事業を展開するため必要となる販売会社を10月1日に設立しました。売り先を保証し、生産者に良いものを作ってもらいます。大事なことはお客様が満足する製品を提供し続けることです。

お客様が喜んでいただけるものと一緒に育てていくことの合言葉で天草わくわく便を作りました。おいしさにこだわりの潮米②定置網魚③漁師秘伝の干物を中心に昨年11月1日より宅急便で各家庭へお届けしています。

滑り出しは順調で既に年間通算700件をこす注文をいただいております。月1000件の注文で天草町のほとんどの休耕田が蘇ります。また海の漁に活気が生まれます。当然加工業、観光業も盛んになり若者が定住できる地域に生まれ変わります。先人たちが築いたふるさとを私たちの代で終わらせることはできません。豊かな地域を未来につなぐことが今を生きる私たちの使命だと思っています。【西嶋隆明】

成人おめでとうございます!

晴れて成人式を迎えられました下田南地区の4名の皆様に心からお祝い申し上げます。自らの力で輝かしい未来を切り開いてください。

成人を迎えて一言...上野珠良さん
20歳になったので両親や祖父母に迷惑や心配をかけないように色々な事を頑張っていこうと思います。



下田南地区振興会
会長 中村敬司

謹賀新年

下田南地区振興会だより 会報 小田床

■発行 第41号■
【発行責任者】
下田南地区振興会
会長 中村敬司
【連絡先】
下田南地区コミュニティセンター
42-3612

空き家の有効活用と 帰郷者促進をめざして

新年あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春をお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。昨年役員の皆様始め、運営委員や地域の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。また、振興会にふるさと納税をして頂き厚くお礼申し上げます。過疎化が進む中において地域再生のために有効に活用いたします。さて下田南でも諸事情により空き家が増えていきます。この空き家を有効に活用できないかと考えてみました。

離郷者等の帰郷や一時滞在の際に、空き家を活用する事ができるなら、空き家は甦り地域再生につながるのではと考えています。故郷を遠く離れた離郷者には実家がある人も居れば帰る家がない人もいます。「故郷は遠きにありて...」年齢を重ねると郷愁の想いが募ると思います。離郷者の子供等、若い世代の方の親の故郷を訪れてみたいと思われるかも知れません。実家や親戚はあるが、部屋が狭いなどで泊まれない方もいると思います。そして近くの旅館などに宿泊することとなり滞在費がかさみます。そんな方のために「滞在スペース」として空き家を有効に活用できれば、帰郷者の促進や帰郷がきっかけとなって下田南に帰って暮らすと考えて下さる方が増えることを期待しています。また、空き家を再利用する事で朽ちるのを防ぐこともできます。皆様のご意見を頂きながら帰郷者促進を図りたいと考えています。本年も色々と行事が多く大変お世話になると思いますがご指導、ご鞭撻よろしくお願い致します。皆様方の益々のご健勝とご健康を祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。